

評価項目及び配点

●第一次審査(書類審査)

①事務局採点項目

評価項目	審査内容	配点
設計事業者(部門)の評価	過去5年間の公共施設の設計実績を評価	10
	専任性(手持ちの設計業務量)を評価	10
設計統括責任者の業務実績	過去5年間の公共施設の設計実績を評価	10
工事業者の評価	過去5年間の公共施設の施工実績を評価(異業種建設共同企業体の代表企業(建設工事)を対象とします。)	10
	過去5年間の港区との工事契約実績を評価	15
地域貢献等の評価	災害協定活動点の評価	12
	港区ワークライフバランス推進企業点	8
	障害者雇用点	4
	環境配慮点	4
見積金額の評価	設計費の見積金額の評価	60
	工事費全体の見積金額の評価	60
	建築工事費の見積金額の評価	60
	電気設備工事費の見積金額の評価	60
	機械設備工事費の見積金額の評価	60
小計(①事務局採点)		383

②選考委員による採点項目

評価項目	審査内容	配点
提案内容の評価	設計と施工を一貫して請け負うメリットを生かした体制(職員配置、企業間連携、設計から施工への意匠伝達)が確保されているかを評価	100
	災害や事故が発生した場合に、どのように実施体制を維持、継続していくのか、応援体制などを評価	50
設計・施工計画	全体工程表として、業務履行期間中(実施設計12か月、新築工事19か月(区想定))の地盤調査や関係行政機関との調整、住民説明など、必要な項目を押さえ、適切な時期や期間を見込んでいるかを評価	100
	施工方法について、周辺道路や交差点の幅員等の周辺環境を踏まえ、安全安心に配慮され、かつ独自の技術や経験を生かした合理的な施工方法となっているかを評価。また、住民の負担を少しでも軽減するため、近隣で行われている建築工事との動線や工期などに関する連携及び調整についても評価	150
	道路使用について、近隣住民との調整及び警察署との協議が適時、適切な内容で行われる計画となっているかを評価	100
地域対応	地域住民からの要望事項(5項目)をどのような進め方で実現していくのか、手法について評価	50
工事中の環境配慮	計画地内の状況や周辺環境に適した騒音・振動・粉塵対策などの工夫や苦情対応を評価	50
外観デザイン	地域にふさわしい外観デザインパス(コンセプト含む)を評価	50
小計(②選考委員採点)		650
一次合計点(①事務局採点+②選考委員採点)		1,033
区内事業者加点(一次評価点①事務局採点×5%)		
一次審査合計得点		

●第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

選考委員による採点項目

項目	審査内容(予定)	配点
事業全体の理解度	本事業の趣旨や課題を十分理解した上で、ポイントをおさえた説明ができています。	50
業務に対する取組意欲	総括責任者に本業務に対する取組意欲が強く感じられ、組織体制を一貫してけん引していくことや区との協力関係が十分見込まれる。	50
独自性のある設計・施工実施体制	一つのチームとしての独自性を具体的に説明できている(コスト縮減や工期短縮など)。	150
提案内容の実現性	工事計画に基づいた道路使用に係る警察署との協議内容が明確に説明でき、高い実現性が感じられる。	150
	地域との道路使用に係る調整や、要望事項実現に向けた進め方を明確に説明でき、高い実現性が感じられる。	150
二次審査合計得点		550